社会資本総合整備計画　　社会資本整備総合交付金

令和05年10月03日

計画の名称	【重点】千葉市緑地保全等事業		
計画の期間	令和０２年度　～　令和０６年度　(5年間)	重点配分対象の該当	○
交付対象	千葉市		
計画の目標	本市では、「千葉市緑と水辺のまちづくりプラン」（計画期間平成２４年度～平成３３年度）にもとづき、豊かな緑と水辺を次代へと引き継ぐため、緑地の保全や、公園・水辺空間の整備を進めます。 古都保存・緑地保全等事業では、都市における緑地の保全を図るため、特別緑地保全地区内の失われつつある優れた自然環境及び歴史文化的意義を有する土地の買入れを行います。 グリーンインフラ活用型都市構築支援事業においては、緑豊かな都市環境の形成を推進するため、大規模な公園の整備・再整備を進めます。		

全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	4,632	A	4,632	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（R2当初）	（R4末）	（R6末）
1	1人あたりの都市公園面積（令和２年度 9.78㎡　→　令和６年度 9.90㎡）			
	1人当たりの都市公園面積 都市公園面積÷推計人口　　※　当初現況値と最終目標値は整数表示のため10㎡となっているが、それぞれ9.78㎡、9.90㎡	10㎡	㎡	10㎡
2	身近な緑と水辺に親しみを感じている市民の割合（令和２年度 36%　→　令和６年度 40%以上）			
	身近な緑と水辺に親しみを感じている市民の割合	36%	%	40%
3	緑豊かな都市環境の形成推進により整備された大規模な公園の利用者数（令和２年度447万人　→　令和６年度 461万人）			
	グリーンインフラでの緑豊かな都市環境の形成推進により整備された大規模な公園の利用者数（万人） =本市の大規模な公園（総合公園等）の利用者数	447万人	万人	461万人

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	

案件番号：　0000526023

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） R02	R03	R04	R05	R06	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	千葉市	直接	千葉市	－	－	古都保存・緑地保全等事業	土地の買入れ（1.7ha）	千葉市	■	■	■	■	■	602		－
		仁戸名特別緑地保全地区（0.5ha）、縄文の森特別緑地保全地区（1.0ha）、登戸緑町緑地保全地区（0.1ha）、宮崎台緑地保全地区（0.1ha）																	
	A12-002	公園	一般	千葉市	直接	千葉市	－	－	グリーンインフラ活用型都市構築支援事業（千葉公園）	再整備、実施設計、用地取得	千葉市	■	■	■	■	■	3,280	3.69	－
	A12-003	公園	一般	千葉市	直接	千葉市	－	－	官民連携型賑わい拠点創出事業（千葉公園）	P-PFIによる公園整備	千葉市			■	■		750	3.69	－
											小計						4,632		
											合計						4,632		

案件番号： 0000526023

交付金の執行状況

（単位：百万円）

	R02	R03	R04		
配分額（a）	40	30	0		
計画別流用増△減額（b）	0	43	0		
交付額（c=a+b）	40	73	0		
前年度からの繰越額（d）	0	0	0		
支払済額（e）	37	73	0		
翌年度繰越額（f）	0	0	0		
うち未契約繰越額(g)	0	0	0		
不用額（h = c+d-e-f）	3	0	0		
未契約繰越率+不用率（i = (g+h)/(c+d))%	7.5	0	0		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					